

R7年度 全国学力・学習状況調査 結果分析及び改善方策（国語科）

1 調査結果（正答率）

本校平均	75
全国平均	67
広島県平均	69
東広島市平均	70

2 重点課題

【課題1】（3三（1））

目的に応じて、文章と図表などを結び付け、必要な情報を見付けることに課題がある。

【課題2】（3二（2））

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。

3 重点課題に対応する改善方策

【課題1】

～誤答となった原因～

○【資料4】の中で、田中さんが伝えたかったことである「人によって言葉のとらえ方がちがうと伝え合うときに困る」の次の接続詞「だから」に着目していないため、【資料1】の「放置しておくことはできない」を選択することができていない。

○複数の資料を結び付けながら、自力で必要な情報を見つける経験が不足している。

○初見で文章内容を把握することができていない。

～改善方策～

☆文章中に用いられている図表などが文章のどの部分と結び付くのかを線でつないだり、複数の語句を丸や四角で囲んだりして情報を整理することで、伝えたいことが明確になることを児童に実感させる。

☆一つの資料だけではなく、複数の資料から考える学習活動を帯タイムに取り入れる。その際に、個人で思考する時間を確保すること、集団で気付きや結び付けたことを交流する時間を確保することに留意する。そして再度、個人で解釈したことを文章化する時間を確保する。

☆読書タイムを利用し、読書量と質の充実を図る。

【課題2】

～誤答となった原因～

○「時代」と「世代」の意味の違いや「言葉」と「もの」の意味の違いを理解できていない。

○それぞれの資料で、書き手の考えの中心となる要旨を捉えることができていない。

～改善方策～

☆語彙を豊かにするために、読書量と質の充実を図る。

☆要旨を把握するためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、まず文章全体の構成を捉えさせる。また、文章の要旨を捉えさせる活動を行う際には、要旨を捉える必要性を感じさせるよう活動の目的や価値を明確にして取り組ませる。